

平成24年度第1回千葉県図書館協議会議事録（要録）

- 1 日 時 平成24年7月4日（水）
午後2時から午後3時45分まで
- 2 場 所 千葉県立中央図書館 講堂
- 3 出席者 （委 員） 岩 澤 健 一 川 津 敏 子
佐 藤 宗 子 島 崎 喜 明
竹 内 比 呂 也 永 野 慎 護
本 吉 貞 夫 森 山 薫
湯 目 千 津
（生涯学習課） 奥 山 恵 子 社会振興室主幹兼室長 他1名
中央図書館長 葉 山 龍 次 郎
西部図書館長 江 澤 義 夫
東部図書館長 河 野 明 美
他10名
（傍 聴 者） なし

4 議 題

(1) 報告事項

- 報告1 平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画について
報告2 「千葉県立図書館情報システム」の進捗状況について
報告3 その他

(2) 協議事項

- 協議1 平成23年度千葉県立図書館の運営状況の評価について
協議2 平成24年度図書館サービス目標について
協議3 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（仮称）について
協議4 その他

会議開会宣言の後、図書館協議会会議運営規則第6条の規定に基づく会議成立の確認がなされた。

<会議録>

議 長 それでは議事に入らせていただきます。

本日は、報告事項3件と協議事項が4件となっております。

報告1 平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画について説明願います。

事務局 事務局説明。

議 長 ただ今の説明につきまして御質問・御意見がありましたらお願いします。

平成24年度事業計画に中央図書館の施設整備がありますが、耐震改修工事は、今年度を初年度として、何か年計画で行いますか。

- 事務局 6か年計画で進めてまいります。
中央図書館耐震改修等整備事業に基づき、今年度は、改修前の調査である予備調査を業者に委託します。
- 議長
事務局
委員 今年度は予備調査をして、来年度から基本設計策定という計画ですね。
そのように考えております。
東部図書館の高等学校等支援に、東総地区高等学校図書委員連絡協議会と共催で総会及び研究会を開催し、高校生が読み聞かせに挑戦したとありますが、高校生の時に子どもに対して絵本を読み、接するというにすごく感動しました。重要なことだと思いますので、是非続けていただきたいと思っております。
- 事務局 東総地区の高等学校の図書委員の生徒、職員が合同で集まって研修テーマを決めて、23年度は絵本の読み聞かせをやっていただきたいということで研修をしました。生徒さんたちには興味を持ってもらった良い研修でした。
今年度は障害者サービス関係ということで、視覚障害者の方が本を読むということはどういうことなのか、生徒さんたちに写真とか絵本などを見て文章でどういうふうに表現するのか、自分たちで作文してもらって体験していただきました。今後も事業を充実させて行きたいと思っております。
- 委員
事務局
委員 テーマはどのように決めるのですか。
学校で選んでいただいております。
この件につきましては、図書館部会の方にも連絡が入ってきております。今年度は「本にふれる 障害者サービス」ということで、グループに分かれて話し合い、代表者が発表するなどして、生徒たちは熱心に参加していたということです。
読み聞かせについて、今後学校として小学校などに行き、中央図書館あるいは地区の図書館にアドバイスをいただきながら体験し、将来、読み聞かせができるような大人になってもらいたいと思っております。
- 議長 是非続けていただきたいと思っております。
他にありますか。
- 委員 絵本の読み聞かせ等の講師に職員を積極的に派遣されたということで中央図書館の事業報告にありましたが、具体的にどのような人に対して何回くらい行ったのか、もう一点、「高等学校・特別支援学校用セット貸出し」をした内容について具体的に教えてください。
- 事務局 絵本の読み聞かせ等の講師については、児童資料室の職員を中心に県立学校へ講師として行っております。高校で、幼稚園、保育園の子どもたちにボランティアを行うカリキュラムがあるそうで、昨年度は10校まではいきませんでした。毎年増えております。また、小学校の先生方が子どもの読書について勉強したいということで講師として行ったり、さわやかちば県民プラザの読み聞かせ朗読講座があり、職員が行くことになっております。
- 事務局 「高等学校・特別支援学校用セット貸出し」については、昨年12月から開始しました。選書の段階から各高校のリクエストをいただき、要望の多

- いもの、例えば文化祭用、修学旅行の事前学習用などを数冊から30冊をセットにして貸出サービスを開始し、6月末現在で28セット貸出しました。
- 事務局 今後もより多く利用いただけるよう、ホームページへの掲載を始めとして、各高校へPRをしていきたいと思ひます。
- 議長
事務局 報告2「千葉県立図書館情報システム」の進捗状況について説明願ひます。
事務局説明。
- 議長
委員 ただ今の説明につきまして御質問・御意見がありましたら願ひします。
千葉県関係データベースの一括検索機能について、いろいろなものが一括で出てくる便利な半面、例えば国会図書館のレファレンスの方で一括検索をすると色々なものが山ほど出てくる。結局並び替えの仕方や組み合わせが必要となる。問題はそれがどういふふうな並び替えをしてもらえるのか、利用する側にとって利便性として、かなり重要なことで、一回に何件までとか、並び替えの種類が選択できるなど、利用しやすいよう配慮していただければと思ひます。
- 事務局 次に、出版情報の情報源となるデータベースがあるとのことですがそれはなんでしょう。
- 事務局 出版情報は、日本書籍出版の出版情報データベースを想定しています。
千葉県関係データベースの一括検索機能については、これから並び順ということも含めて業者と見やすい、選択しやすいように配慮するというこゝで進めております。
- 委員 新着図書お知らせの自動配信サービスについて、一番に考えられることとして、県立図書館が市町村立図書館と同じように、自分の好きな人気作家の著者名を登録してそれが全部来るようにしておいて、というような利用者がいて、市町村立であれ県立であれ予約をかけ、どこでも、とにかく早く手に入る方からというようなことが懸念されます。県立図書館と市町村立図書館では、新着図書の利用の仕方を差別化した形で行えると本当はいいのではないかと思ひます。
- 事務局 まず収集については、県立図書館として、市町村立図書館と競合しないような専門書を中心に収集するようにしています。次に収集希望受けについては、図書館として希望図書というのがありその都度対応しています。
予約の冊数制限とかは、運用しながら検討していきたいと考えております。
- 議長
事務局 新着図書お知らせの自動配信は、配信、即、予約受付というものではありません。あくまで「この本が入りました」という情報提供の一環です。
- 議長
事務局 報告3「その他」の報告があるようでしたら説明願ひます。
「九都県市首脳会議関連の3館合同企画展示事業について」説明。
- 議長 ただ今の説明につきまして御質問・御意見がありましたら願ひします。
質問等ないようでしたら、次の協議事項に入ります。
- 事務局 協議1「平成23年度千葉県立図書館の運営状況の評価について」説明願ひます。
事務局説明。

- 議長 　ただ今の説明につきまして御質問御意見がありましたらお願いします。
- 委員 　19項目のうちA評価が8項目　AA評価が11項目　評価としては高い評価の内部評価をされておりますが、委員の皆さんの意見をお願いします。
- 委員 　県立図書館等への資料貸出冊数ですが、学校との連携も含めて各学校にかなり浸透しています。非常に中央図書館が身近になりました。また7月25、26日の学校図書館関係研修会にも、参加していただけるということで、学校の様子もわかっていただけるかと思えます。
- 今後とも、そういう場に講師等を中央図書館から派遣いただければと思っております。
- 議長 　他にありますか。
- 新規として、「教職員等に対する研修等の開催回数及び講師派遣件数」は、12回の目標に対して15回と、非常に高く125%となっています。また、同じ様な「研修等の充実」の「研修会の講師件数」も新規で、20件の目標に対し31件で155%と非常に高くなっていますが、研修の回数というのは講師を派遣した回数が増えているということでしょうか。
- 事務局 　色々な所へ、要望があれば研修会講師として派遣しております。講師となることは、職員が司書という専門職の力量を試されるものと考えております。
- 委員 　講師の派遣要請というのは例えば学校関係が中心なのでしょうか。
- 事務局 　小学校の先生対象や高校生対象など、昨年度より学校向け研修会の回数が増えております。その他も含めて、要望があれば、県立図書館職員が出向いております。
- 議長 　目標が低かったという訳ではなくて状況、結果をみて、後は目標を高くしていくのですね。
- 委員 　講師派遣は館内の仕事をしながら司書の方が講師に出ていくということで、大変負担になると思います。
- 事務局 　外に出ることによって職員の日常の業務を見直す良い機会だと思っておりますので、可能な限り調整がつけば派遣する方向です。ただし特定の職員だけに負担がかからないよう分担して工夫してまいります。
- 委員 　一応の目安はあった方が良くと思います。
- 例えば今自分の大学にもいろいろな高校から出前講座に来て欲しいと連絡が入りますが、その時の基準は何かといたらその高校からどのくらい受験しているかなど参考にしたりしています。今はこれで対応できても、前はこういうときにも来てくれたのになぜ最近は来てくれないのかということが、数年後に起るかもしれません。月あたりどれくらいまでとかなど何かを目安にしたらどうでしょうか
- 事務局 　参考にさせていただきます。
- 議長 　特に御質問等がないようでしたら、平成23年度千葉県立図書館の運営状況の評価について、事務局（案）で御了承いただけますか。
- （異議なし）
- なお、総評については、各委員の御意見を踏まえながら、副議長と決めてい

くこととしたいのでよろしくをお願いします。

議長
事務局

協議2 平成24年度図書館サービス目標について説明をお願いします。
事務局説明

議長
委員

ただ今の説明につきまして御質問・御意見がありましたらお願いします。
「児童サービス研修会の開催回数」と「図書館ボランティアの育成者数」は、読み聞かせボランティアの育成者数と共通しているのではないかと思います。回数は回数と人数もかぶっていると考えてよろしいですか。

事務局

「児童サービス研修会の開催回数」は、県立中央図書館で県内公共図書館の児童サービス担当者向けの基礎講座を4回開催しております。また外部講師をお願いして「子どもの本の読み聞かせ講座」を2回で合わせて6回になります。

委員

「図書館ボランティアの育成者数」の中に児童サービス研修会の「子どもの本の読み聞かせ講座」の受講者数を加えております。

平成24年度の事業計画の重点項目の中に図書館海援隊関連事業がありますが、このような講座の実施について、サービス指標には挙げていない。サービス指標の基本項目というのは既に昨年に作成されている「県立図書館の今後の在り方」について枠組みで決まっていますし、そうすると平成24年度事業計画そのものの中に入るのか、それとも単に事業の計画であってサービスの計画ではないのか、どのようにお考えでしょうか。

議長
事務局

事業計画とサービス指標の関係ですね。
新規事業については、評価指標として前年度と比較しづらいと考えております。平成23年度第3回の図書館協議会で委員の皆様から、アクションプランとそれに沿った評価指標にしなければならないと御意見をいただきました。その御意見を基に次の協議事項で提案します行動計画を策定する中で、当該年度事業と評価が調整できるものと考えております。

委員

平成24年度のサービス指標は、枠組みとしては「県立図書館の今後の在り方」をベースにしているけれども、前年度を踏襲することが大方針で、現時点ではズレがあると理解するということですね。

議長

平成23年度の評価が非常に高い評価でしたから当然ながらそれを下回るような目標はないですね。

事務局

はい。ありません。

議長

協議3 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（仮称）について」事務局説明願います。

事務局

事務局説明。

議長

「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（仮称）」とありますが、（仮称）とはどういうことですか。いつまで仮称ですか。

事務局

これは仮の名称です。名称や内容については次回の協議会で御審議いただければと思います。なお、内容についてはハード面とソフト面とがあり、今後施設整備や図書館運営を含めた行動計画としたいと思っています。

委員

早めに資料を送ってほしい。

事務局
議長

事前に資料を送付して御意見をいただきたいと思います。

「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（仮称）について、事務局（案）で御了承いただけますでしょうか。

（異議なし）

特になければ、今日の会議はこれで終わりにしたいと思います。

議事の進行に御協力ありがとうございました。

以上で、平成24年度第1回千葉県図書館協議会を終了した。